

# 自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内  
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <http://kawagoejichiren.com/>

## 主な記事

- 2面…永年勤続自治会会長・副会長を表彰  
川越市長から感謝状
- 3面…令和元年度自治会長研修会  
令和元年度 川越市自治会連合会役員
- 4面…転入者へお声かけを  
地域活動支援事業の募集  
新・広報委員紹介  
知らせて・知りたい広報に  
編集後記

## 令和元年度川越市自治会連合会 総会開催

令和元年度川越市自治会連合会総会は、5月30日(木)午後3時30分から川越氷川会館において、川合善明市長をはじめ多くのご来賓をお招きし、開催されました。

新井正司副会長の開会のことばに始まり、本間幸治会長の挨拶の後、川越市自治会連合会永年勤続自治会会長・副会長の表彰が行われ、川合善明市長からは本年退任された自治会会長・副会長への感謝状が贈呈されました。

議長には塩川光男福原支会長が選出され、議事に入り、平成30年度事業報告、決算報告が行われた後、宮崎裕弘代表監事から監査報告が行われ、承認されました。続いて、令和元年度事業計画(案)、同予算(案)が提案され、両案とも承認されました。また、新役員(案)についても賛成多数で承認され、ここで議事は全て終了しました。

その後、川合善明市長からごあいさつをいただき、さらに、ご来賓の方々からご祝辞をいただきました。

最後に、新井正司副会長が閉会のことばを述べ、総会は終了しました。



## 役員紹介

自治会連合会総会において根本栄三監事が退任されたことに伴い、瀧澤常雄監事が選任されました。今年度の役員は以下のとおりです。

- 会 長 本間 幸治 (名細支会/みよしの自治会)
- 副会長 新井 正司 (高階支会/五ツ又自治会)
- 副会長 本郷 誠二 (第十支会/中原町2丁目自治会)
- 副会長 船津 和信 (第十一支会/新宿町6丁目自治会)
- 監 事 宮崎 裕弘 (第三支会/今成2・3丁目自治会)
- 監 事 須賀 憲 (第四支会/元町1丁目自治会)
- 監 事 瀧澤 常雄 (山田支会/府川自治会)
- 監 事 赤星まき子 (名細支会/市営小堤団地自治会)



## 永年勤続自治会会長・副会長を表彰

令和元年度総会において、10年以上にわたり自治会活動にご尽力され、業績が顕著な自治会会長及び副会長を表彰しました。

受賞者には表彰状と記念品が授与され、受賞者を代表して、鯨井新田自治会の武田幸人前会長が謝辞を述べられました。

### 永年勤続自治会会長

氏名	勤続年数	自治会名
小泉 秀男 氏	14年	仙波町4丁目
武田 幸人 氏	13年	鯨井新田
細淵 哲夫 氏	10年	グリーンcommons川越
吉武 覺 氏	10年	寿町1丁目

### 永年勤続自治会副会長

氏名	勤続年数	自治会名
関口 紘三郎 氏	16年	松江町1丁目
藤田 美治 氏	13年	脇田新町
中村 博幸 氏	11年	南大塚
石井 宏 氏	10年	南大塚



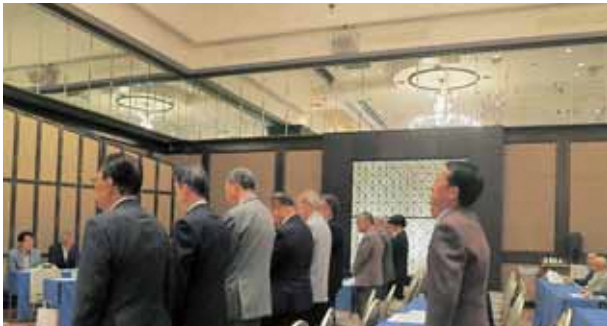
本間会長から鯨井新田自治会武田幸人前自治会長へ表彰状授与

## 川越市長から感謝状

川越市自治会連合会の総会の議事に先立ち、地域の自治会活動にご尽力され、市政の伸展に多大な貢献をし、退任された自治会会長並びに副会長に対し、川合市長から感謝状と記念品が贈られました。

感謝状は、川越市自治会連合会が市長に具申して表彰されるもので、退任自治会会長39名、副会長27名の方々が受賞されました。

受賞者を代表して、仙波町4丁目自治会の小泉秀男前会長が謝辞を述べられました。



感謝状贈呈の様子



川合市長へ仙波町4丁目自治会小泉秀男前自治会長から謝辞

## 令和元年度自治会長研修会

令和元年度川越市自治会連合会総会に先立ち、自治会活動に関係の深い市の各部署担当職員から、業務内容について説明がありました。各課からの説明後、質疑応答が行われ、多くの自治会長から様々な質問・要望が寄せられました。地域社会に対する想い、自治会長としての意識の高さを感じられる研修会となりました。

説明項目は次のとおりです。

### 【地域づくり推進課】

- 自治会と行政について
- 市民活動補償
- 各種補助金  
(自治会集会所の建設事業、自治会集会所の増改築・修繕、自治会集会所用地の取得・賃貸借、自治会会議会場借り上げ、コミュニティ助成事業)
- 投票立会人の推薦

### 【防犯・交通安全課】

- 防犯灯電気料補助金

### 【防災危機管理室】

- 避難所開設・運営訓練

### 【福祉推進課】

- 日赤会費募集
- 民生委員・児童委員、主任児童委員の推薦

### 【資源循環推進課】

- クリーン川越市民運動 (ごみゼロ運動)
- かわごえ環境推進員の推薦
- 集団回収事業

### 【収集管理課】

- 地域のごみ処理
- ごみ集積所の新設・移動・廃止

### 【環境政策課】

- アメリカシロヒトリ防除機械貸付け及び薬剤交付
- 緑の募金 (家庭募金)

### 【健康づくり支援課】

- 保健推進員の推薦

### 【川越市社会福祉協議会】

- 川越市社会福祉協議会会員募集
- 赤い羽根共同募金
- 地域歳末たすけあい募金

### 【生活福祉課】

- 支援会議

## 令和元年度 川越市自治会連合会役員

役職	支会名	氏名	役職	支会名	氏名	役職	支会名	氏名
会長	名細	本間幸治	常任理事	山田	齊藤明治	理事	古谷	和田巖
副会長	高階	新井正司	常任理事	霞ヶ関	鹿山久男	理事	南古谷	細野稔
副会長	第十	本郷誠二	常任理事	霞ヶ関北	佐藤保雄	理事	高階	大村善康
副会長	第十一	船津和信	常任理事	大東	高橋健治	理事	高階	加藤和徳
常任理事	第一	小松正彦	常任理事	川鶴	村山満正	理事	福原	宇津木二郎
常任理事	第二	永谷久	理事	第一	森田正治	理事	山田	高梨良一
常任理事	第三	中出国志	理事	第二	池田俊一	理事	名細	吉田文雄
常任理事	第四	山崎耕一郎	理事	第三	東徹	理事	霞ヶ関	樫雄一
常任理事	第五	小山弘	理事	第四	鈴木庸夫	理事	霞ヶ関北	栗原喜一郎
常任理事	第六	高橋敏明	理事	第五	小池清則	理事	大東	瀧澤光昭
常任理事	第七	一村義夫	理事	第六	畠山榮一	理事	川鶴	山田芳文
常任理事	第八	宮岡寛	理事	第七	河原隆	監事	第三	宮崎裕弘
常任理事	第九	新井忠雄	理事	第八	川股秀之	監事	第四	須賀憲
常任理事	芳野	関根啓喜	理事	第九	遠藤康二	監事	山田	瀧澤常雄
常任理事	古谷	濱野茂男	理事	第十	山下正雄	監事	名細	赤星まき子
常任理事	南古谷	猪口幸隆	理事	第十一	渡邊勝			
常任理事	福原	塩川光男	理事	芳野	芹澤雅一			



## 転入者へお声をかけを

新年度が始まり、早くも3か月が経過しました。この間に進学、転居、転入など環境の変化があった方もいらっしゃるかと思います。自治会連合会では、市と連携し、自治会加入促進クリアファイルやチラシを転入者へお渡しするなどの取組みを行っています。

自治会は、地域に住む人たちが住みよい豊かなまちづくりを目指して、様々な活動を行っている自主的な団体です。

自治会員の皆さんからも、ご近所に転居してきた方がいらっしゃいましたら、できる限りお声をかけをお願いします。

自治会の行事や活動を通じてお付き合いの輪が広がって、そこから「自治会に入ってみようかな」と思っただけいたら素敵ですね。

## 地域活動支援事業の募集

自治会連合会では、地域社会における住民の福祉の増進及び連帯意識の高揚を図るため、支会が行う各種事業に対し、地域の活性化を図ることを目的とした支援費を交付しています。今年度も交付事業を募集しています。

※申請期限：8月30日（金）まで

対象事業は以下のとおりです。

- (1) 交通安全対策の推進に関する事業
- (2) 青少年の健全育成推進に関する事業
- (3) 環境美化の推進に関する事業
- (4) 防犯対策等の推進に関する事業
- (5) その他、地域住民の福祉の増進に関する事業

交付金の交付申請は、支会長が行うものとしてしています。申請される場合には、自治会連合会事務局（市役所地域づくり推進課TEL：224-5705）にお問い合わせください。

## 新・広報委員紹介



栗原委員  
川股委員

高橋委員(新)  
本郷委員長

今年度の広報委員を紹介します。

- 委員長 本郷 誠二（第十支会）  
委員 川股 秀之（第八支会）  
委員 栗原喜一郎（霞ヶ関北支会）  
新委員 高橋 健治（大東支会）

平成30年度広報委員を務められた古谷支会の原田委員が退任され、新たに大東支会の高橋支会長が広報委員に加わりました。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

## 知らせて・知りたい広報に

「自治連だより川越」に各支会（地域）の情報を掲載することによって、さらなる広報の充実が図れます。自治会活動は試行錯誤の繰り返しだと思います。活動内容を紙面に掲載していくことで、関心度や情報を共有し地域の声を広げられるのは広報です。各支会において掲載してほしい情報を自治会連合会事務局（地域づくり推進課TEL：224-5705）へお寄せください。

## 編集後記

ここ数年、私の自治会では、天寿を全うして亡くなられた方がいます。四十九日の法要が済みますと遺族の皆さんが「形見分け」ということで生前身につけていた物を分けているという話を聞きます。

本来、「形見分け」は、亡くなられた人が普段着ていた衣服などに靈魂が宿ると考えられていたことから、遺族の皆さんに「形見」として分けるという習わしがありました。また、亡くなった方の子供を「わすれ形見」とも言っていました。

今日では、さみしいことに衣服にはあまり手を出さず、貴金属を中心に「形見分け」としているようです。（S. H）